

千里の道も一歩から

令和8年度
とよの東学園
進路通信 No.7
7月7日
発行者：山部

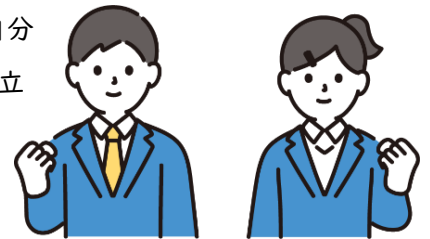
1 学期の期末懇談に向けて

先週の水曜日と木曜日に「進路のしおり」と第1回進路説明会のスライドを使って、進路学習をしました。

説明をする中で、少しずつでも「自分の人生」について考えることができたでしょうか。進路選択において一番に考えてほしいのは「自分がどう生きていきたいか」ということです。そして、自分の目標の実現に向けて、今何が必要か、何をしなければならないのか。それは、普段から大事にしてほしい、「すべきことをしっかりとする」ということです。

第1回進路希望調査を見ていると、具体的な学校名を書いている人もいれば、「検討中です」「公立か私立か迷っています」「〇〇高校にオープンスクールの参加申し込みをしました」というようなことを書いていた人もいました。

ただ、今回の懇談は「今、あなたの成績は●●だから、◎◎高校は合格の可能性が高い／厳しい」という話はしません。それよりも、「自分はこういうことをやりたい」や「こういうところを大切にしたい進路を選びたい」ということをみなさんと保護者の方と担任の先生とで確認しあいましょう。そこで、以前行った「ダイヤモンドランキング」を参考にしてみましょう。（このデータは担任の先生とも共有できています。）自分に一番合った進路は、何よりも自分自身で見つけるのが一番です。もちろん、思いの違いからみなさんとお家の人とで対立してしまうことがあるかもしれませんが、その思いの違いを担任の先生に相談することで、「どこなら譲り合えるのか？」を今回の懇談で一緒に考えてください。



夏休み中に「複数の高校」が集まるイベントや合同説明会

☆7月26日（日）公立高校進学フェア2027

*会場はインテックス大阪です。要事前申し込みで13日（月）10:00から申込が始まります。

https://www.pref.osaka.lg.jp/o180030/koto_kaikaku/kokomiryoku/shingakufea_2027.html#sankahouhou



☆8月15日（土）、16日（日）大阪府私学展

*会場は天満橋 OMM ビル 2 階です。

<https://osaka-shigaku.gr.jp/shigakuten/>



まずは広く浅くでもいいので、いろいろな学校の情報を収集してください。そして、秋には実際にたくさんの学校の説明会・オープンスクールに行きましょう。

大阪府公立高校・支援学校の情報はこちら

<https://www.schoolnavi.osaka-c.ed.jp/>

ERAB.O 大阪府公立高等学校・支援学校検索サイト



保護者の皆様へ

期末懇談にお越しいただく際に、以下2点をご確認ください。

A 今回の期末懇談では7・8年生の時の評価のご確認をしていただきます。事前にメモをしてお持ちいただくか、7・8年生の時の通知表をお持ちください。

B 今回の期末懇談で下の①～③のいずれかをお考えの場合は、担任へ伝えてください。

- ①大阪府育英会の奨学金の申し込みを考えている。
- ②保護者の転勤や一家転住等のため、(大阪から遠方の)他府県の受験を考えている。
- ③病気・障がい等の事情により、入試時に「時間延長・座席位置の変更」等の配慮が必要である。

進路に関することで、ご質問等ございましたら懇談時に担任へお伝えいただくか、職員室の山部のところまでお越しください。出張等で不在の場合は、担任等にお伝えください。後日回答いたします。よろしくお願いいたします。

進路希望調査にご記入いただいた質問への回答(抜粋)

Q1:初めての受験まで色々と分からない事が多いです。先生方で、本人に指導をして頂けると嬉しいです。

→ まず不安をなくすにはどうするかですが、情報収集からされるとよいと思います。公立高校ガイド・Dream(私学情報誌)・ERABO など、進路説明会で紹介したものや、教室に掲示している学校説明会等のチラシをご活用ください。お子さんにとって満足のいく進路先を選択できることが一番です。目標が定まったら、次に何をすべきかがわかってくると思います。ひとつひとつ確実にお願いいたします。

また、学校でも進路にむけた学習や、実際に受験が近づいてきたときに具体的な指導をする予定です。生徒全員が自分の力で進路を切り拓いてほしいと思います。



Q2:学力や通学を考えると選択肢が少なく困っています。また色々と教えてください。

→ いろいろと悩まれると思いますが、一番は本人にとって行きたい進路先がなにかということに尽きると思います。ただ、ご家庭の事情もあると思いますので、是非この機会に本人とじっくり将来について語り合ってください。

Q3:無意識に子どもにプレッシャーをかけてしまいそうです。どうサポートしたら良いですか？

→ まず、受験をするのは本人であるという大前提を、いつも忘れないようにしていただくと良いと思います。いろいろと口出しをしたくなるお気持ちもわかりますが、一番のサポートは本人の力が十二分に発揮されることです。いろいろな方のサポートがあつての受験です。前向きになる言葉がけや健康管理など、普段からされているサポートをしていただくと、本人にとってのプラスになると思います。

Q4:第一子なので、進路についてとても不安です。いろいろと教えてください。

→ 実はご兄弟で受験を経験されていても、受験のシステムは数年に一度更新されています。そのため、多くの方が同じように不安を感じられています。特に、年の離れたお子さんであれば尚更です。まずは、正確で最新の情報をキャッチするようにしていただけたらと思います。その中で、先入観を持ちすぎないことがコツです。「あの学校は昔は…」「〇〇さんがあの学校のことを…と言っていたよ」といった噂話や風評は、「いつの時代の話？」というものが多いです。そのため、実際に学校見学をすると「イメージと全然違った」という話もよく聞きます。学校見学、是非とも積極的にお願いします。